

証券コード：6549 ディーエムソリューションズ株式会社 代表取締役社長 花矢 卓司

第14期定時株主総会決議ご通知

当社は平成30年6月26日（火）に第14期定時株主総会を開催し、下記の通り報告並びに決議されました。

報告事項 第14期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）事業報告及び計算書類報告の件

決議事項 第1号議案 定款一部変更の件 原案通り承認可決されました。
第2号議案 取締役7名選任の件 原案通り承認可決されました。

会社情報（2018年3月31日現在）

■ 会社概要	商号	ディーエムソリューションズ株式会社	従業員数	317名
	証券コード	6549	事業内容	▪ ダイレクトメール及び宅配便の発送をワンストップで行う発送代行事業 ▪ コンテンツマーケティングやSEOコンサルティングサービス及び自社メディアサイトの運営等によるインターネット広告事業
	設立	2004年9月15日		
	資本金	2億2,183万円		
	本社所在地	東京都武蔵野市御殿山1丁目1-3 クリスタルパークビル2F		

■ 役員

代表取締役社長
取締役副社長
取締役 デジタルマーケティング事業部長
取締役 ダイレクトメール事業部長
取締役 人事総務部長
取締役 パーティカルメディア事業部長
取締役^{※1}
常勤監査役^{※2}
監査役^{※2}
監査役^{※2}

※1 社外取締役 ※2 社外監査役

花矢 卓司
福村 寛敏
小林 剛司
勝山 純一
在川 浩太
木村 和央
松藤 悠
安田 仁裕
齋藤 哲男
高見 之雄

■ 拠点情報



ディーエムソリューションズ株式会社

〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山1丁目1-3 クリスタルパークビル2F

Business Report

ディーエムソリューションズ株式会社

2018年3月期 事業報告書

2017年4月1日～2018年3月31日

証券コード:6549



特集

花矢社長が語る！

当社の事業・強み・成長戦略

当社の事業領域

つなぐ。

当社は、リアルな広告媒体である「ダイレクトメール事業」と
バーチャルなネット媒体を活用した「インターネット事業」の2事業を展開しています。



多彩なサービスで、顧客企業の売上拡大、コミュニケーション強化に貢献

目次

当社の事業領域	01	ディーエムソリューションズ ラウンジ	09
株主の皆様へ	02	株式の情報	
特集 ▶ 花矢社長が語る！		(株式の状況・所有者別株式分布状況・大株主の状況・株主メモ)	10
当社の事業・強み・成長戦略	03	第14期定時株主総会決議ご通知／	
業績・財務ハイライト・次期業績見通し	07	会社情報(会社概要・役員・拠点情報)	裏表紙

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年6月に東証JASDAQに上場し、2018年3月期は、その初年度として、ダイレクトメール（DM）事業とインターネット事業の2つの事業拡大を図るべく邁進いたしました。

その業績について、株主の皆様にご報告させていただきます。

2018年3月期の業績は、売上の9割近くを占めるDM事業が堅調に推移したものの、インターネット事業の低迷、利益減により、事業拡大のための先行投資を補うに至りませんでした。その結果、売上高は10,438百万円（前期比14.3%増）、営業利益は171百万円（同34.9%減）、経常利益は167百万円（同36.8%減）、当期純利益は110百万円（同35.4%減）となり、13期連続増収、過去最高売上達成も各段階利益はいずれも減益とな

り、当初計画を達成することができませんでした。

2019年3月期は、DM事業において、利益率の高いフルフィルメントセンターの稼働率向上等の施策により、引き続き増収の計画をしております。また、インターネット事業において、競争力強化を図るとともに新たな取り組みを実行することで、収益力強化に努めてまいります。そのうえで、ネットとリアル両方のサービス提供が可能な社内インフラを有する特徴をいかし、両事業のシナジーを追求、他社との差別化を行い、事業拡大と企業価値向上に励んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年6月吉日
代表取締役社長
花矢 卓司

花矢社長が語る！

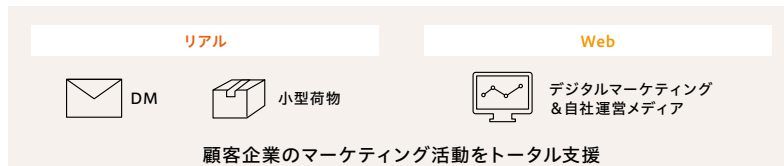
当社の事業・強み・成長戦略

上場2年目を迎える花矢社長に
お話を伺いました。

Q.1 Overall まずは御社の事業について教えてください。

ダイレクトメール（DM）事業とインターネット事業を通じ 顧客企業のマーケティング活動支援を行っています。

当社は、DMやECサイトで取り扱う商品をはじめとする小型荷物の発送を代行するDM事業とSEO対策をはじめとするインターネットを通じたマーケティング活動を支援するインターネット事業の2事業を、法人様向けに展開しております。



DM事業 TOPICS

2017.7.3 新たな大型物流施設フルフィルメントセンターを開設

東京都日野市に従来の施設の約1.5倍となる1,900坪のフルフィルメントセンターをオープンしました。また、これにあわせてDM事業部に物流企画部も新設。業務を後押しする組織体制も整え、大幅な出荷処理能力向上と取扱量増加により売上高拡大を目指してまいります。



Q.2 Direct Mail DM事業の事業内容と強みについて教えてください。

好循環サイクルをはじめとする強みをいかし、商業DM・ 定期発送物及び宅配便等の小型荷物の発送代行を行っています。

当社では他社と比べて充実した営業体制を構築しております。この営業力をいかし新規顧客の開拓及び取引実績を積み上げることで、安価な仕入価格の提供を受けられるようになります。高い価格競争力を武器に、さらなる顧客獲得につなげていけるこの好循環サイクルが、一つ目の強みです。

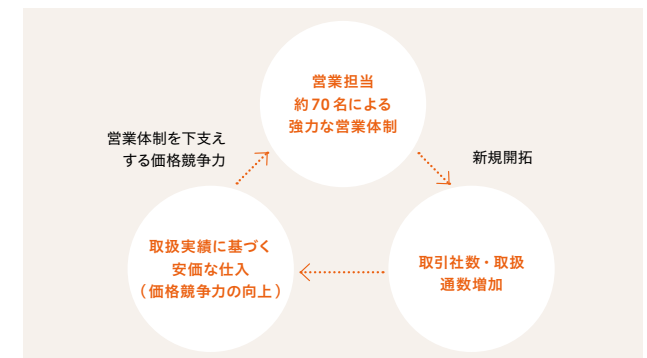
二つ目は、2017年7月に新設したフルフィルメントセンターによる高い受託能力及び処理能力です。ネット通販などの商品発送案件はその前提として一定規模以上面積を有する物流施設を必要としますが、1,900坪の専用施設を整備したことにより受託案件数は着実に増加しており、収益機会は拡大中です。

また、当社では発送代行に限らずDM・定期発送物の企画、デザインから印刷、封入・封緘、また小型荷物の保管・管理、梱包作業をそれぞれ一括受注できます。工程ごとに別々の会社に依頼する必要がない点を、多くのお客様から評価いただいております。これが三つ目の強みです。

以上の強みをいかし、年々取引社数やセグメント売上高を順調に伸ばしております。

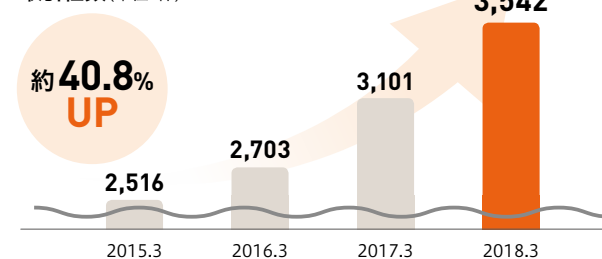
● DM事業の強み

- DM・定期発送物・小型荷物のワンストップ発送代行サービス
- フルフィルメントセンター活用による高い案件処理能力
- 小・中規模案件のオペレーションノウハウ
- 成長の源泉 好循環サイクル

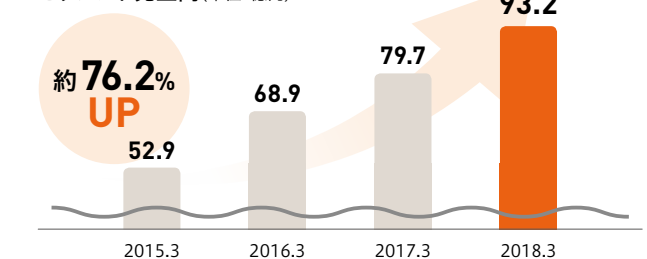


● 業績推移

取引社数(単位:件)



セグメント売上高(単位:億円)



Q.3 **Internet** インターネット事業についても、事業内容と強みを教えてください。

顧客企業のデジタルマーケティングに関するワンストップ支援と比較サイト等の特化型サイト運営を手掛けています。

インターネット事業においても、顧客企業のインターネットマーケティング活動に関する一切を一括してお任せいただくことが可能です。具体的には、サイトの企画、デザインから記事、コンテンツ制作、その後のSEO対策をはじめとした運用まで当社で全てご提供できる体制を構築しております。

そのうえで、顧客企業のメディアだけでなく、ランキング形式で複数企業の商品紹介や比較検討を可能にする、いわゆる特化型メディアの運営も行っております。



インターネット事業 TOPICS

2017.12.15 事業拡大の戦略拠点となる新宿エルタワー サテライトオフィスオープン

新たな営業拠点を東京都新宿区に開設。JR新宿駅から徒歩2分の立地に415㎡の広さを有し、約60名の従業員が業務を行うことのできる環境となっております。どのエリアからも通勤の便の良いこの場所に戦略拠点を構えることにより優秀なインターネット人材の採用を促進するとともに、クライアント先までの移動時間を短縮し、営業強化、顧客サポートの充実及び業務効率化を図ってまいります。

Q.4 **Overall** 今後の成長戦略について聞かせてください。

DM事業とインターネット事業の拡大とシナジーの追求に努め、企業価値向上を目指します。

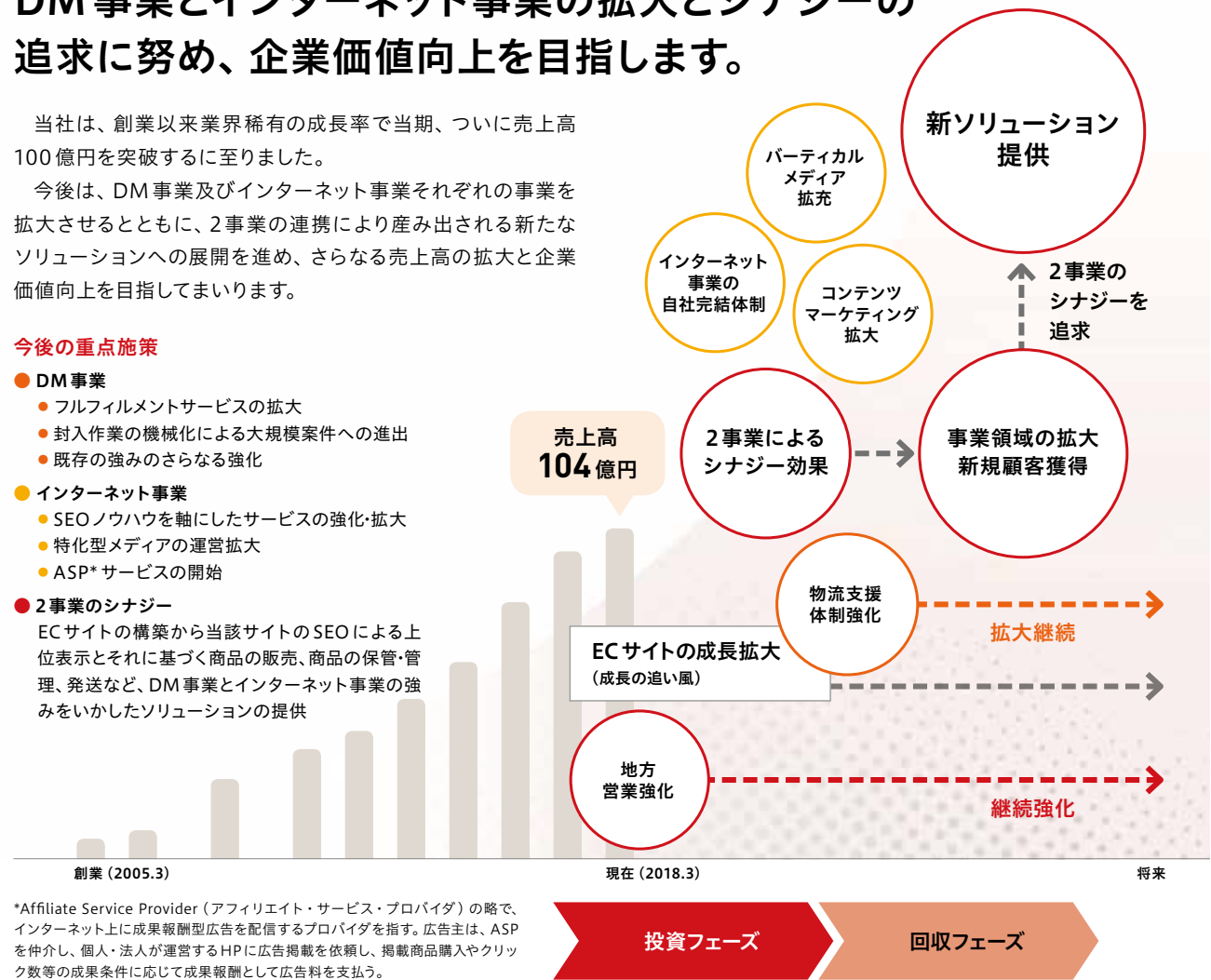
当社は、創業以来業界稀有の成長率で当期、ついに売上高100億円を突破するに至りました。

今後は、DM事業及びインターネット事業それぞれの事業を拡大させるとともに、2事業の連携により産み出される新たなソリューションへの展開を進め、さらなる売上高の拡大と企業価値向上を目指してまいります。

今後の重点施策

- **DM事業**
 - フルフィルメントサービスの拡大
 - 封入作業の機械化による大規模案件への進出
 - 既存の強みのさらなる強化
- **インターネット事業**
 - SEOノウハウを軸にしたサービスの強化・拡大
 - 特化型メディアの運営拡大
 - ASP*サービスの開始
- **2事業のシナジー**

ECサイトの構築から当該サイトのSEOによる上位表示とそれに基づく商品の販売、商品の保管・管理、発送など、DM事業とインターネット事業の強みをいかしたソリューションの提供



*Affiliate Service Provider (アフィリエイト・サービス・プロバイダ) の略で、インターネット上に成果報酬型広告を配信するプロバイダを指す。広告主は、ASPを仲介し、個人・法人が運営するHPに広告掲載を依頼し、掲載商品購入やクリック数等の成果条件に応じて成果報酬として広告料を支払う。

業績・財務ハイライト・次期業績見通し

(単位:百万円)



- 売上の9割近くを占めるDM事業が堅調に推移し、14.3%の増収。売上高100億円突破。
- インターネット事業の不振と成長に向けた投資により減益。

ポイント:DM事業においては、積極的な営業活動及び7月に開設した日野フルフィルメントセンターを活用した小口貨物の取り扱い強化に努めた結果、新規顧客開拓と既存顧客からの受注が堅調に推移。一方、インターネット事業にお

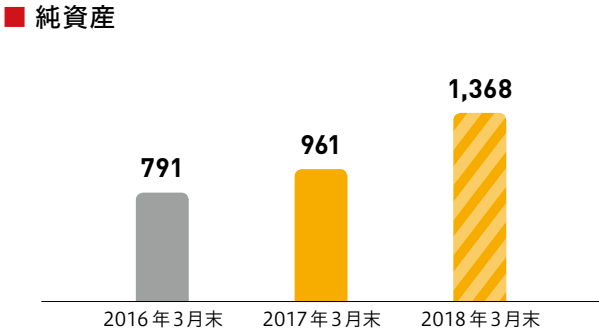
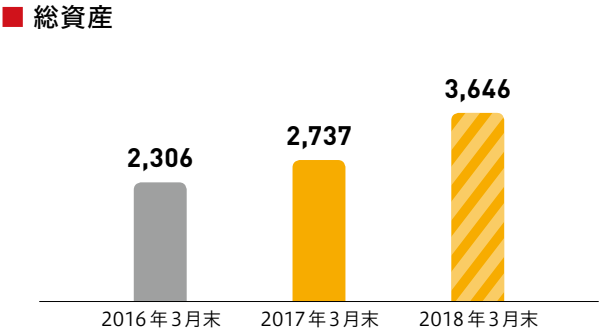
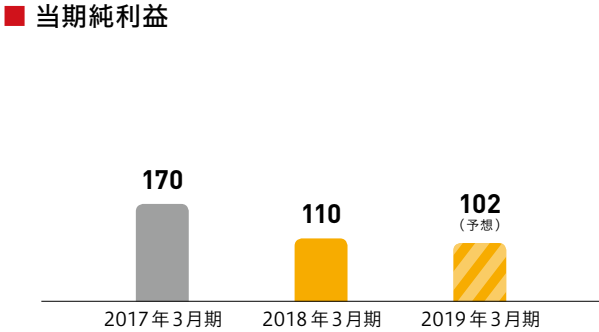
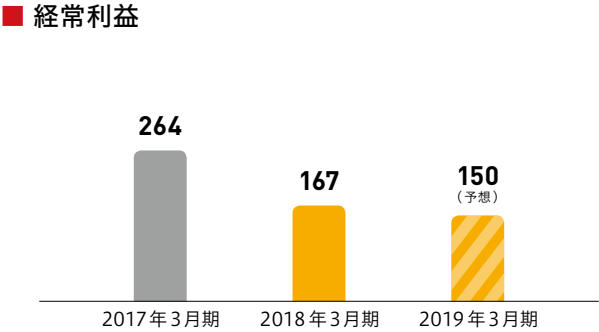
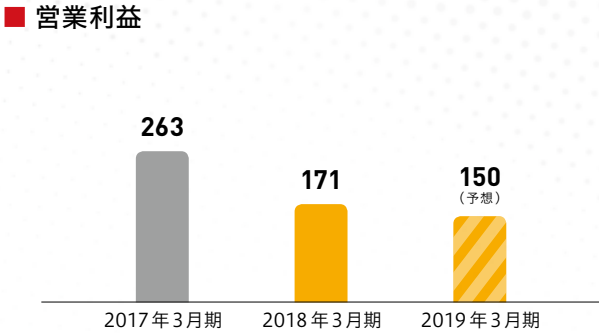
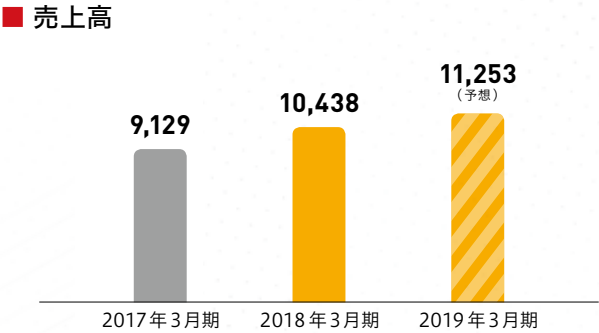
いては、主要サービスの競争激化により利益が減少しました。以上の結果、売上高は、創業以来13期連続増となる10,438百万円（前期比14.3%増）、営業利益は171百万円（同34.9%減）での着地となりました。



- 売上高は7.8%増の112億円を計画。
- 収益性の向上と事業計画の達成を目指します。

ポイント:DM事業において、導入した大型の封入機械及び日野フルフィルメントセンターの活用等により、既存サービスのさらなる拡大と新規顧客開拓を推進するとともに、インターネット事業において、新たなサービスの開発とその販売及びメディアの展開に注力することで、売上高は14期連続

増の11,253百万円（前期比7.8%増）を目指します。営業利益に関しては、全社的な傾向として、当期行った機械設備や新拠点開設等の先行投資に伴う費用の増加により、150百万円（同12.1%減）を見込んでおります。



IRサイトでさらに詳しく

IRサイトでは、決算短信、決算説明会資料などさらに詳しい決算情報をご覧になれます

<https://www.dm-s.co.jp/ir>

ディーエムソリューションズ IR 検索





事業のトピックスやお知らせなど、
株主様とのコミュニケーションコーナーです。

■ 株主優待制度

毎年、3月31日現在の株主名簿に記載されている株主様のうち、当社株式を2単位（200株）以上を保有され、且つ1年以上継続して保有されている株主様を対象に株主優待商品を進呈します。

次回、2019年3月期 株主優待（2019年6月進呈）について

当社株式2単位（200株）以上保有いただき、且つ、2018年3月31日、9月30日、2019年3月31日各時点での株主名簿に連続して記録された株主様に進呈となります。



2019年6月進呈 株主優待予定商品

4,000円～5,000円相当の
エグモントハニー社
マヌカハニー
UMF10+ 250g 1瓶

※今後、仕入れや在庫の状況によって商品が変わる場合がございます。

■ ホームページのご案内

当社は、株主・投資家の皆様にタイムリーで分かり易い情報発信を目指し、ホームページの充実を図っております。
是非一度お立ち寄りください。

ディーエムソリューションズ IR

検索

スマートフォンで
IRサイトへ

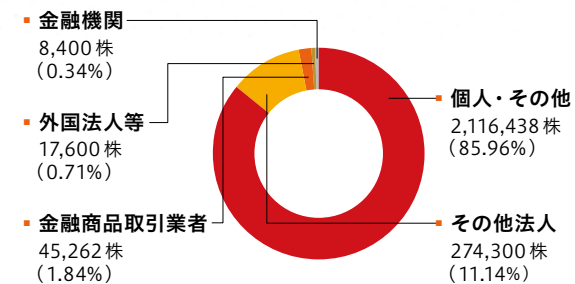


株式の情報（2018年3月31日現在）

■ 株式の状況

発行可能株式総数	8,800,000株
発行済株式総数	2,462,000株
株主数	1,308名

■ 所有者別株式分布状況



■ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日 (そのほか必要がある場合は予め公告いたします)
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL: https://www.dm-s.co.jp やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

■ 大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
花矢 卓司	796,000	32.33
福村 寛敏	536,000	21.77
アセットインクリーズ株式会社	260,000	10.56
松本 和久	159,800	6.49
ディーエムソリューションズ社員持株会	38,800	1.57
勝山 純一	34,000	1.38
小林 剛司	34,000	1.38
在川 浩太	24,000	0.97
吉田 慎一郎	22,000	0.89
株式会社SBI証券	18,300	0.74

小数点以下第3位四捨五入

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
連絡先（郵送先） および 電話照会先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711（フリーダイヤル） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
各種事務手続き	詳しくは、こちらのページにてご確認ください。 https://www.tr.mufig.jp/daikou/